

「^{ほんど}本戸地区自治公民館」

霧島市国分川内4501

代表者：前田 良熊

まず本戸地区の概要から説明します。

本戸地区集落は霧島市街地から東に約16.5 Km、標高約340mの高台にあり、東北方向が曾於市財部との境界になります。本戸地区は宮崎県へ流れる大淀川の上流本戸川に沿って、真谷集落から本戸集落まで4.7kmの細長い谷間に水田が段々に耕作され、周囲は国有林に囲まれてい



る環境にやさしく公害のない住み良い所です。公民館は三自治会で組織されている小さな集落です。

現在、戸数は34戸、人数は男22名、女32名の計54名です。

地域に生まれ、地域で育った地域住民として一生涯の家族健康作りをスローガンとし、昭和50



年に住民の相互の融和親睦を図り、体力向上に努めることを目的としてスポーツ振興会を結成いたしました。

毎月第三日曜日を体育の日に定め、グラウンドゴルフ、ゲートボールを隔月に開催しております。時間を見て、体力測定、ナワとび、ボールけり、ラジオ体操等行います。昭和58年度と平成2年度に市民体育

大会で感謝状もいただきました。

本戸小学校が昭和56年3月で閉校になり、木原小中学校に15名ほど転校いたしました。

当時は小学校もあり、先生方も数多く、若者達もいて活気にみちた活動でした。戸数も70戸以上、人数も男女合わせて150名ほどでした。



平成7年までに集落には子供達もいなくな

り、本戸地区も高齢化が進み、年々過疎化のため一人暮らしの家庭が多くなる状態です。

◆事例発表（被推薦団体）◆

昭和50年度から今日まで長年続けておりますスポーツ、レクリエーションを取上げて、地域の活性化と地域に住む人々の交流のふれあいの場をつくり、明るく住み良い本戸地区集落にして頑張っていきたいと思えます。

